



## サイエンスチーム会議

2010年2月23日    MAXI チーム(MM)

- MAXIサイエンスチーム (MAXI-ST)はMAXIでどんな天文学をやりたいか、そのためにどんな観測機を用意すべきかを決めました。決まった観測装置の設計・製作・試験には多くの協力者が参画して完成し、得られるデータは新しい天文学の研究に貢献しています。
- MAXI-STは1976年ISS-EFの搭載を提案したときに始まります。当時は理化学研究所と大阪大学の2機関の約12名の関係者でした。その後14年間で研究機関は9機関\*、人数は約40名になりました。
- MAXI-STは日々MAXIのデータと格闘し、新天体や新現象の速報も現時点で27本国際電報(メール)で送出しました。これからは速報した発見等を、国際学術雑誌の論文に掲載する方針です。
- 2月20日JAXAの東京事務所で丸1日かけて討議しました。この結果25課題ほどの論文を夏頃までに纏めようということになりました。

\* JAXA(筑波, 相模原), 理研, 阪大, 東工大, 青学大, 日大, 京大, 宮崎大, 中央大

# MAXIサイエンスチーム 会議

JAXA, 東京, 2010. 2. 20



出席者: 小谷・鈴木・中平・大休寺・杉森・山岡・石川・諏訪・山崎・松村・富田・廣井・森井・海老沢・上田  
木村・中川・上野・三原・常深・根来・中島・河合・鶴澤・松岡・小浜・杉崎・山本 [吉田・坪井]  
欠席者: 磯部・江口・山内・川崎・足立・板本・小林・片山・三好・石渡(順不同) [過去のメンバーは省く]